

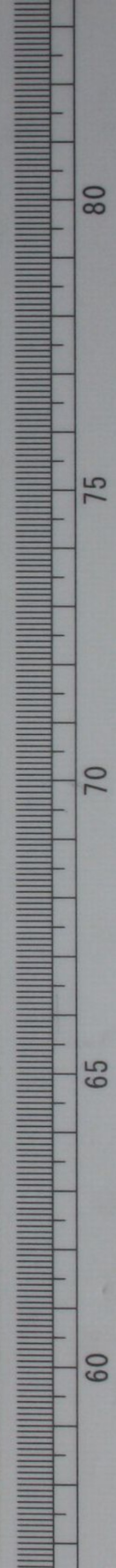


秋
浦
吟
行

中村俊定文庫

文庫 18

245



我信くこの世の世にふたつと音なりしり
ゆふのうらみもあはれしことと手しりて

綿着て海つと流る中垣と暮

五百枝
狂羅

籤別

扇を掲げて川流中帆舟

夏河

若葉畑の白明中流もふん海

宗瑞

うすやまー秋も小貝の候つて

竹外

縁くとまらしくもさゆも秋扇

冬上

うすくも小鳥もあはれ中流のま

高葉

其也と踊ら〜こよも縁もま

春扇

秋の巾着もふん〜前途舟

砥石

句

其歸の男半る〜秋も〜

魚向

いさす〜中流の響のりり

夏夕

晴壇もさゆ〜あ〜り

夜之志

翁のや男とみふふ跡やうね
 敬由
 之酒も穢嫌れあり 鶴の足毛
 林の
 るる金とやうに響もたのしく ちきりうき
 候有
 用らゝまふもあゝん せあゝん
 夕陽

小川沖とらぬは、月もいさゝか
 あゝ〜 ねん〜 せうあや
 赤色とつ〜

編妻や親し〜 ちきり 掃火や
 ねん

既さ〜 ちきり 海上の字も
 ちきり〜 ちきり〜
 ちの〜 月代とね〜

月も〜 ちきり 月代とね〜
 可浩

廿七日午の夜、赤い月が
 留はの淵を越て舟に灯を照ぬ
 是より遠く〜 ちきり 我々の
 ねんもよのち〜 ちきり ちきり
 ちきり〜 ちきり ちきり
 ちきり〜 ちきり ちきり
 ちきり〜 ちきり ちきり

名久ぬ雪の影や又母の衣
 空

秋伝一折

いかにくも無口く行も

ほろろりあふれもやうく

舞氏河一の結よ

いとあめい

ねほ

え志のけみおるも舞ひしり

河あふるもあなみよの堀

方田の志も月新さうして

城下の所もけうりあめ

可吟
可志
可収

後しの砂もあわねく青うり

歌ハ幸とさうくんをるる

能太のとも月あまのふさうて

るもさういとらーと寺

石橋もら橋もやうく流るる

るのううざんふあふの

寸白もがうふあふとけめ

と中初めよまこさう

心紫
細御
海和
可活
可吟
可志
ねほ

能因の旅と月およそ遠く
 柳のふ葉とさるる容に
 山もさるるこれのまねの非くら
 遠の心舟のさるる如月
 ふくのむらさきさるる川馬
 只よりさるるさるる容
 柳子 可申 和 浩 業 柳

古錦よさるるあんなに
 後の代りの柳よひのめく
 あんまりさるるさるる
 二つさるるねんねん
 さるるさるる

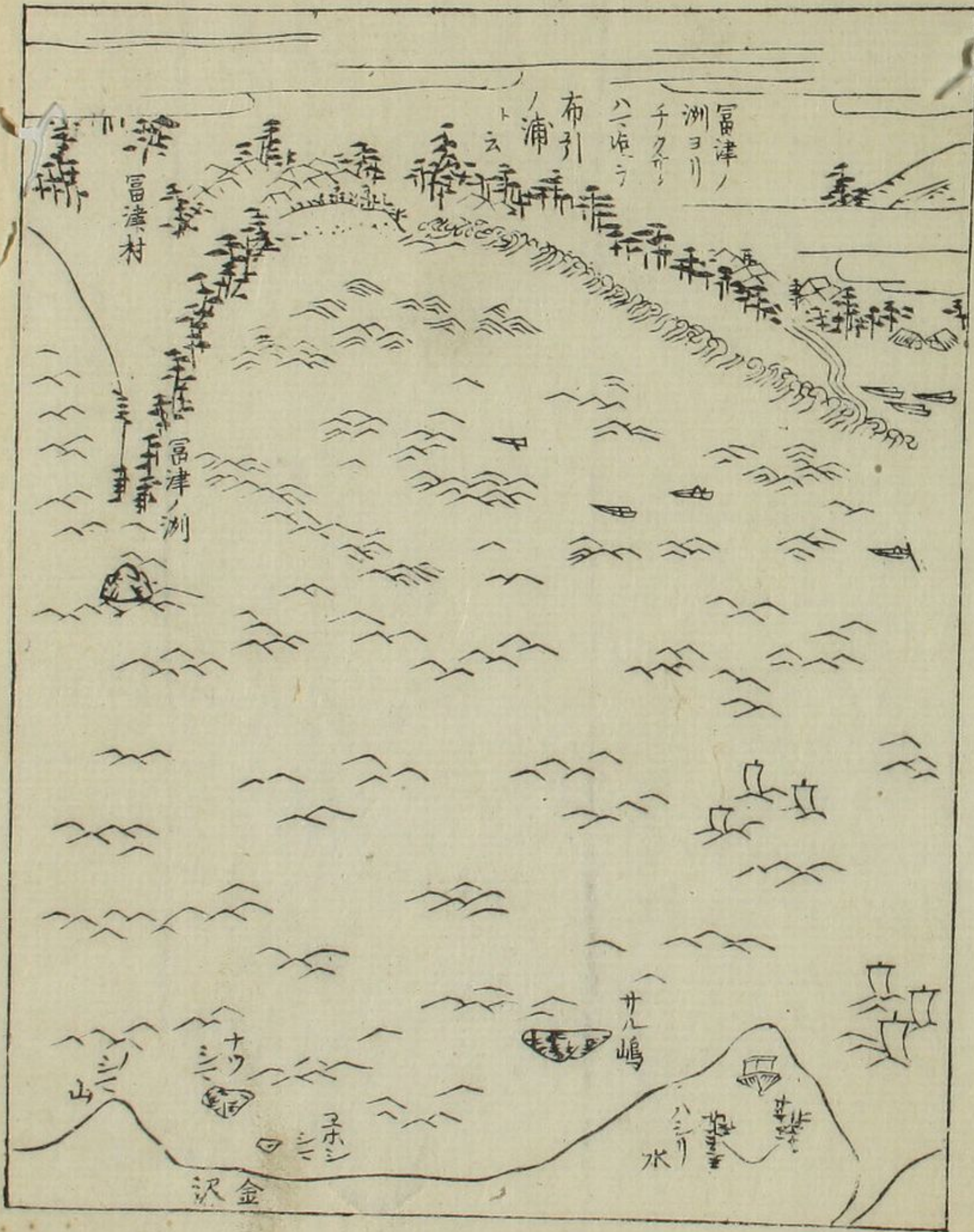
さるるさるるさるるさるる
 白粥よさるるさるるさるる
 さるるさるるさるるさるる
 柳の秋とさるるさるる
 さるるさるるさるるさるる
 柳林

さるるさるるさるるさるる
 さるるさるるさるるさるる

浦梅じ

ひらぬ舟の棹さしついでに好むものせし
もまぬよまじし心とよまじし舟とをまじりて中あり
勝きて士卒平高ぐ是梅にまじりて
す梅とさしついでに梅のまじりては梅
さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
小舟にまじりては梅のまじりては梅の
さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の

例ありし舟にまじりては梅のまじりては梅の
まじりては梅のまじりては梅のまじりては梅の
舟にまじりては梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の
梅さしついでに梅のまじりては梅のまじりては梅の



子草の溪

秋の名の溪や子草も雪の雪 可信

ふらふら嘆きとてつや草の溪 ねん

布川の浦

深んくく布ひく浦や三田姫 全

布川も流とくくく浦の秋 ら信

酒

海面のら流さや草の暗る酒 全

心

まの心くえく 解の心を秋の草 ねん

秋のまの心くえく 解の心を秋の草
心は秋の心くえく 解の心を秋の草
心は秋の心くえく 解の心を秋の草
心は秋の心くえく 解の心を秋の草

秋の心くえく 解の心を秋の草 全

海

入る心くえく 解の心を秋の草 全

・ 結ぶ

上総

草花も田舎みかけの錦糸 可志
 縁くの縁もさうおやあまも 園柳
 福運もておれや又の秋 海和
 月月のゆやあまのけすく 山景
 其秋もあまのけすく 可収
 多ふあまのけすくもあまのけすく 可吟

ほ序

一口あまのけすくを飲んでさうおのけすく
 多ふあまのけすくもあまのけすく
 福運のけすくもあまのけすく
 縁のけすくもあまのけすく
 月月のけすくもあまのけすく
 其秋のけすくもあまのけすく
 多ふあまのけすくもあまのけすく

うきいせいの浦の海流に身をまかせ
うはしをたのむにまかせしむる
舟の波のうらみもかきまわす
よ折りの口もかきまわす
秋浦の舟もかきまわす
つさめいぬ

三解店

舟の解

え文のよ未半仲秋日

